



大和田あきお なんでも相談 ビフォー&アフター シリーズ NO.249 道路陥没の補修を実現

原宿3丁目
(神奈川信用金庫近辺)

大和田あきお事務所は、基本的に毎月、戸塚区役所、戸塚土ができ、9月1日道路上の大きな穴の補修・修復が市市民の要望を伝える申し入れを行っています。

今回の改善された報告は、原宿3丁目の住民からの要望です。原宿3丁目6の23のかなりがわ信用金庫の近辺の道路に陥没して大きな穴が空いており、危険な状況となっています。この近辺の道路自体が凸凹の状態です。「道路上の大きな穴の補修・修復をお願いします」と報告がありました。

大和田あきお事務所は、6月16日、戸塚土木事務所、戸塚区役所に申し入れしました。



(写真) 修復前の状況 6月撮影



(写真) 原宿3丁目の神奈川信用金庫近辺の「道路陥没の補修」の状況 9月16日撮影

大和田議員が議案関連質問

市民に身近な診療所などにも物価高騰対策支援を



(写真) 第二回定例会で議案関連質問を行う大和田あきお市議員 11月9日 横浜市議会

9月7日、第二回定例会が開かれ、今年度後半(10月～3月)の物価高騰対策補正予算案を含む市長提出議案に対する関連質問が行われました。日本共産党からは、大和田あきお議員が登壇し、物価高騰対策の支援範囲の拡大、旧米軍上瀬谷通信施設の公園整備は国に全額負担を求めると、財政負担の増大についてMICE施設の増設は今後行わないことなどを求め、市長に質問しました。

診療所・薬局にも支援を

5月議会で決まった年度前半の支援では、対象が59の救急病院としていたものが、今回132の病床のある病院に拡大したことは評価するとして、支援対象に病床施設のない

「診療所」や「薬局」などが外れていると述べ、診療所や薬局も、病床施設のある医療機関と同様、公定価格で事業を行って、物価高騰の影響を患者負担に転嫁できないことから、身近な医療機関である診療所などへも同様な支援が必要であると主張しました。

思い切った啓発活動を

また、多くの医療従事者は、もともと少ない人員体制のなかで、休むことができません、大人の数の食事はしない、旅行に行かない、県外には出ないなどの制限の中で、今もコロナと闘い続けていると述べ、疲弊している医療現場の状況に思いを寄せ、物価高騰対策にとまらないうる」と答えました。

広げないよう、市民への感染拡大予防の思い切った啓発を求めました。

大和田議員の提案に 独自の支援が必要であると判断

山中市長は、「県内の医療機関等への支援は県で検討中と聞いている。本市としては、安定した医療提供体制を維持するために、相対的に物価高騰の影響が大きい入院診療を行う病院に対して、独自の支援が必要であると判断した」「公的価格を適用する医療機関等への財政措置については、基本的に診療報酬制度等で対応すべきであると考えている。本市としても、診療報酬の改定にあたっては、物価高騰の影響などを反映するよう、国に要望を行っている」と答えました。



(写真) 本会議後の懇談会の様子 9月7日 横浜市議会

情報提供に努める

「コロナ感染拡大予防の啓発については、「現在も基本的な感染対策や抗原検査キット及び解熱鎮痛薬の備蓄、医療機関受診時の注意点等についても感染状況も踏まえながらSNS、ホームページ、広報よこはま等様々な媒体で広く周知を行っている。引き続き、分かりやすい情報提供に努めます」と答えました。

横浜市役所。 議会棟見学会

横浜市役所の議会棟を大和田あきお議員と議会局のかたの案内で見学します。見学の後、大和田議員を囲み、懇談会を行う予定です。

みなさんのご参加を楽しみにしています。

日時 10月24日(火)

午前10時 横浜市役所の3階議会棟前、集合。終了は、11時半頃の予定です。

※参加費無料。参加申し込みは各後援会、または「ほっとスペースとも」(大和田あきお事務所)まで。参加予定人数は20人～30人位まで。

主催・連絡先: 日本共産党戸塚区後援会



大和田あきお公式 LINE アカウントの運用を始めました。大和田あきおからのお知らせやイベントなどの情報配信を行います。友だち追加をお願いいたします。

◆「ほっとスペースとも」 無料法律相談 ◆ 10月18日(水) 18:30～ 事前予約制 協力横浜みなみ法律事務所
◆なんでも相談 ◆ 「ほっとスペースとも」で常時受付ています。お気軽にご相談ください。

あなたの「？」におこたえします。党綱領と規約の話



(写真) 横浜ノース・ドックゲート前にて米軍へ申し入れを行う党横浜市議団=8月29日

横浜ノース・ドックへの米軍揚陸艇部隊の配備の中止と撤回・早期全面返還を求める

8月29日、日本共産党横浜市議団(5人)は、横浜ノース・ドックゲート前で、在日米陸軍司令部および在日米陸軍基地管理本部宛に、「米軍揚陸艇部隊の配備の中止と撤回」、「早期全面返還を求める」を申し入れました。申し入れには、はたの君枝前衆院議員や横浜の平和委員会や革新懇の皆さんも駆けつけました。

古谷やすひこ団長は、直接申し入れについて「部隊新設は米軍と国が勝手に決めてしまったもので、『横浜市民は決して歓迎していませんよ』ということを通じて、米軍に伝えられた」と述べた。

日本と中国

緊張と対立をどうしたら?



「対話すすめるべき」75% (「日経」6月26日付)

「中国の脅威」を煽ったり、「軍拡には軍拡」で応じたら、緊張はエスカレートするばかり…。いまこそ平和をつくる外交が必要です。日本共産党は3月、「日中関係を前向きに打開する提言」を発表し、日本政府と中国政府に直接申し入れました。

「互いに脅威とならない」の合意

志位和夫委員長は、日中両国がお互いに確認しあっている合意を土台に関係を改善させ、平和と友好の関係をつくるべきだと提案。岸田首相も中国大使も、肯定的に応じました。「互いに脅威とならない」の合意を守り、具体化すべきです。



「脅威とならない」は「いまでも維持」(岸田首相)=3月30日



「中国政府の立場と共通」(吳江浩中国大使)=5月4日

「力による現状変更」「人権侵害」はきびしく批判

尖閣諸島、ウイグルや香港…。日本共産党は、中国の覇権主義と人権侵害を引き続ききびしく批判します。

(抜粋) 新リーフレットです。連絡頂ければ、お届けいたします。



食料支援プロジェクト

民青が食糧支援

9月2日土(土曜)午後、明治学院大学食糧支援が行われました。来場者は8名で、夏休み中のため、少な目でした。アンケートでは、「学費減額の要望」がありました。社会人で来場した青年は、「学生のみが対象と思い、いままで来るのをためらっていた」と語っていました。学生だけでなく、青年の生活も大変なようです。



9月号の正解者は、川上くーちゃん、汲沢キンギョさん、東戸塚KTさん、泉区T子さん、上倉田N子さん、Dさんでした。

2	3	5	6	4	8	9	7	1
4	1	8	5	7	9	6	2	3
6	9	7	3	1	2	5	4	8
7	8	9	2	3	6	1	5	4
1	5	6	9	8	4	7	3	2
3	4	2	1	5	7	8	6	9
9	2	1	4	6	5	3	8	7
5	7	4	8	9	3	2	1	6
8	6	3	7	2	1	4	9	5

※ハガキ・メール・ラインで解答をお寄せ下さい。正解者次号発表。
tomo.nanpure@gmail.com



3人体制へ

横須賀市選出の県議の逝去を受け、井坂しんや県議が繰り上げ当選となりました。3人の県議団で県民要求の実現、県民生活の支援委力を合わせます。

(写真) 右から大山奈々子県議(横浜市港北区)、井坂しんや県議(横須賀市選出)、木佐木たまたま県議(横浜市鶴見区)

衆議院 比例は 日本共産党

3	9			7	6	5	
2			5	6			4
			4				3
				6	1	2	
			8				
	4	8	9		(a)	(b)	(c)
8				9			
6				2	4		7
	3	2	6				9
							1

問 網掛け部分の、「a・b・c」に入る数字は?



学生食料支援プロジェクト

募金・生活物資ご協力をお願い

【募金送り先】
郵便口座 00210-1-15562
加入者名 日本共産党横浜西南地区
通信欄 学生支援

【食料・生活物資の届け先】
日本共産党横浜西南地区委員会
横浜市戸塚区戸塚町 3875
問合わせ 045(864)1861

お困りごとや
ご心配ごとは
『なんでも相談』
へお気軽にお問合せ下さい。

☎ 865-0074

10月の早朝駅頭宣伝

東戸塚駅(水曜) 11・25日
戸塚駅東口(水曜) 4・18日
戸塚駅西口(金曜) 6・13・20・27日
地下鉄踊場駅(第2火曜) 10日
地下鉄舞岡駅(第4木曜) 26日
(各駅とも朝7時~8時、舞岡駅 朝7時半~8時半)